

はじめに

みなさん！こんにちは、向井京子です。
今、松山市中心部の中央商店街は、昔のような賑わいや「昔ながらのご近所付き合い」が出来る商店街で無くなっているような気がします。空き店舗は、増加傾向に歯止めが利かない状況で、このままだったら、本当に寂しい商店街になってしまおうのではと思います。一方、世間では食肉等の偽装表示や事故米の流通など、食に関する関心が高まり、消費者が安心できる食べ物を求めている状況です。

この状況は、松山地域の『地産地消』への取組にも追い風となり、「中予地域の農産物を地域の人に食べてもらおう！」との思いから、(株)愛媛CATVとともに農商工連携機能と情報発信機能を併せ持つ街中交流拠点、産直市『ぎんこい市場』を平



特集3

ぎんこい市場の物語

ぎんこい市場 代表
向井 京子
(松山市)

成21年4月、銀天街に誕生させることができました。

きっかけ

『ぎんこい市場』を運営する『新鮮ぐみ』は、平成19年2月、中予地区内の農林漁業者や起業農業者で結成された『松山地区直売・起業ネットワーク』の有志で結成。

このネットワークは、経営能力の向上や販売促進活動に取り組むことを目的とし、交流会や学習会、イベントの開催等の活動に取り組んできました。これまでも海



夜市でじゃこ天実演

と山との交流として、久万高原での双海のじゃこ天の実演販売や、まつちかタウンうまいもん市場での販売などを行いました。特に、まつちかタウンでの販売では、街中居住者が新鮮な農産物や生産者との交流ができる常設の販売拠点を求めている事を、身をもって感じるきっかけとなりました。さらに、松山市実施の居住者アンケートでも、農産物の販売



おばちゃんのお饅頭



お母ちゃんの手づくり惣菜



ぎんこい市場



や産直市の開設が多く要望され、常設の必要性は明確で出店の思いは確信に変わりました。

■夢？現実？

平成20年の冬、銀天街の老舗店舗を閉店させるオーナーの意向で、『地域活性化に貢献する取り組みをしていただける方に貸したい』と商店街の空洞化対策に取り組み松山市からネットワーク事務局（中予地方局産業振興課）に連絡がありました。個人やグループで活動を行う農林漁業者にとって『銀天街に店を持つ』『銀天街で野菜を売る』のは考えられない夢のような話でしたが、1週間後には、メンバーで店舗確認や産直市の開設について、話し合いました。

店舗は銀天街のど真ん中にあり、店舗面積15坪、築40数年の木造3階建。構造上大規模改装は出来ないし、費用もない状況でした。改装費用の捻出について話し合い、「自分達の店への費用負担は当然」との意向に賛同する者で、出荷者組織『新鮮ぐみっ』を結成しました。また、12月末に閉店した店舗のシャッターを、出来る限り早く開けたいとの思いから開店日を4月10日としました。開店に向け店舗運営や商品確保、103インチ大型テレビの設置、銀天街の決まりごとなど相談事項は尽きることなくあり、関係機関等と話し合いを重ねる日々が続きました。

すべて突然始まった不安だらけの話でしたが、仲間や家族、そして一緒に運営をする(株)愛媛CATV等に支えられ、内装工事、看板設置と進み、やっと『ぎんこい市場』が銀天街に姿を現しました。最初の電話から実質4ヶ月。瞬く間の出来事で夢のような日々でした。

■開店

開店日には、松山市長らを来賓に迎え、賑やかなオープニングセレモニーを開催。店内は、新聞のチラシや情報紙を見た近隣住民が殺到し、狭い店内は身動きの取れない状況でした。大型テレビには、(株)愛媛CATVが製作した生産者の顔や加工品の紹介VTRが放映され、作り手の見えるお店としての取り組みを始めました。（現在も『ぎんこい市場の人々』を放映中）



大型テレビ

■小さな「コミュニティ」から

『銀天街に来て欲しい！』『銀天街に恋して欲しい！』との思いから名づけた『ぎんこい市場』の売りは、中予地区から集まる新鮮な農林水産物と加工品ですが、それ以上に欠かせないのは『作った生産者と交流のできる店づくり』です。

常設で、しかも銀天街での商売を、海や山に住む素人のおじさん・おばさんが、中心となって運営しているので、失敗は多々あります。お客様の大半は、近所のマンションに住む高齢者やふれあいを求め人達です。来店時には、販売員と何気ない会話を楽しんでほしい、1000円のキウイを売るのに10分以上かかることもざらです。最近では、スイカを買われた近所の方が、食べやすい大きさに切って店に持ってきていただいたり、お客様からコーヒーの差し入れや旅行先のお土産を届けてもらう等、商店街や近隣住民の皆さんとの関わりの中で、元気をもらいながら、一つ一つ課題解決に取り組みんでいます。オープンから数ヶ月、『ご近所づきあい』が出来る『八百屋』に一步步成長している日々です。

野菜生産者
(栢森副代表)



栢森さんの人参